

第Ⅱ期人工知能基本計画（案）（概要）

～日本A X、より強く、より豊かに～

資料 1 - 1

基本構想

- ◎急伸するエージェント型A Iに適応し、計算資源や電力から、制度・政策まで日本のA I実装能力を抜本強化
- ◎A Iを前提として意思決定や業務の進め方を根底から見直す「A Iトランスフォーメーション」（A X）を推進
- ◎人が人として創造すべき価値を探索し、「人間力」を増進しながら、「人とA Iが協働する社会」を率先して実現
- ◎「信頼できるA I」で社会全体を駆動し、課題解決と国力強化を探索、日本独自の価値を創出

4つの原則

- イノベーション促進とリスク対応の両立
- 挑戦と学習
- アジャイル（柔軟かつ迅速）な対応
- 内外一体での政策推進

4つの基本的な方針に基づく施策

政府一丸でA X推進に必要な体制を構築、あらゆる制度や運用を先導見直し

1. A I利活用の加速的推進「A Iを使う」：エージェント型A I等の積極適用、政府における率先導入

- 政府・自治体でのA Iの徹底した利活用 ガバメントA I「源内」の進化と普及、地方の伸び代を成長に転換（地域A X）
- A I利活用促進による社会課題解決、新事業創出 バーティカルA I・フィジカルA I中心に社会実装加速
- データ戦略、更なるA I利活用に向けた仕組みづくり 政府・準公共・産業分野でデータ連携基盤構築

2. A I開発力の戦略的強化「A Iを創る」：A I実装能力を高め、「A I主権」を確保する

- A I研究開発・利用基盤の拡充・高度化 国家基盤として計算資源やデータ、安定した電力供給を確保
- 日本国内のA I開発力の強化 データセット創出、内外トップ人材確保、モデル開発高度化、評価基盤・テストベッド整備
- 信頼できるA I基盤モデル等の開発 日本の文化等を踏まえたA I開発・評価、マルチモーダル基盤モデル開発推進
- 日本の勝ち筋の追求 バーティカルA I（領域別戦略）、フィジカルA I（A Iロボティクス、自動運転）、AI for Science



3. A Iガバナンスの主導「A Iの信頼性を高める」：A Iエコシステムにおける「信頼」の構築で世界をリード

- 責任あるアジャイル・ガバナンスの実現 AI法を含めた制度等の能動的かつ不断の見直し、Project YATA-Shield
- A S E A N等グローバルサウス諸国を含めた国際協調 AISI機能強化、信頼できるA I共創に向けA Iサミットの早期日本開催

4. A I社会に向けた継続的変革「A Iと協働する」：人が意思決定への責任を持ちながら、A Xで日本を駆動

- A Iを前提とした産業構造・雇用環境の構築 中小企業、地方含むA X推進（取組可視化等）、雇用への影響を調査研究
- A I社会における制度・枠組みの検討・実証 規制・制度改革、人とA Iの責任関係、知財保護・利活用につながる透明性確保
- A I時代の人材の育成・確保 A I実装人材育成・確保、全ての国民のA Iに関するリテラシー向上、リ・スキリング支援
- A I時代における人間力の向上 創造力、批判的思考、判断責任など人間力向上、人とA Iの役割分担の探究

➡ 本基本計画は当面毎年変更、適切なベンチマーク（KPI等）を設定しモニタリング